

シュローダー中東／北アフリカ・ファンド

愛称 MENA (ミーナ)

追加型投信／海外／株式

償還 交付運用報告書

第26期(償還日2020年12月4日)

作成対象期間(2020年9月8日～2020年12月4日)

第26期末(2020年12月4日)	
償還価額(税込み)	10,095円69銭
純資産総額	320百万円
第26期	
騰落率	6.4%
分配金(税込み)合計	－円

(注) 騰落率は期末の基準価額に分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー中東／北アフリカ・ファンド」は、このたび、2020年12月4日をもちまして繰上償還となりました。

当ファンドは、主として中東および北アフリカ地域の株式等に投資する投資信託証券への投資を通じて、中東および北アフリカ地域の株式等に実質的な投資を行い、信託財産の長期的な成長を目的として積極的な運用を行ってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも弊社投資信託につきまして、一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)
- ・インターネットホームページ <http://www.schroders.co.jp/>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記の委託会社のホームページの「投資信託一覧」＞「償還ファンド 運用報告書(全体版)」から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

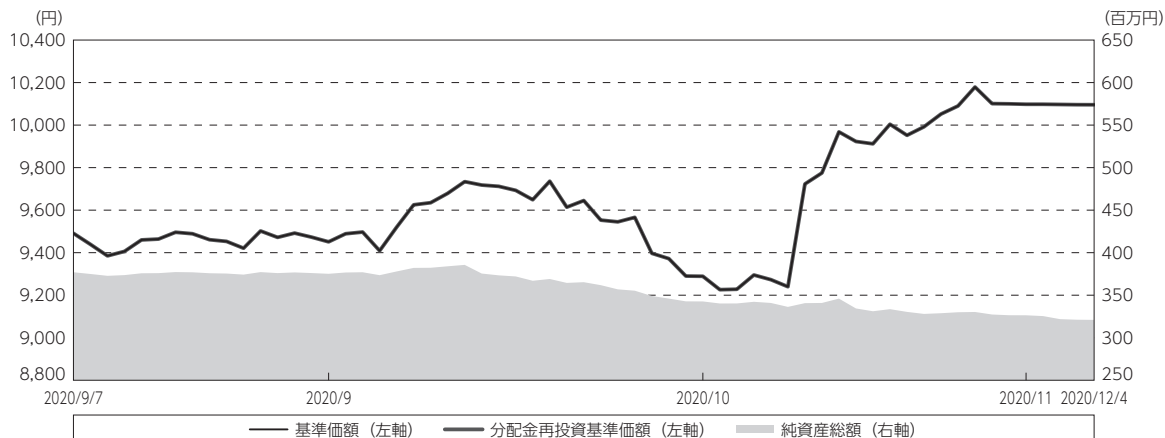
Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年9月8日～2020年12月4日)



期 首：9,491円

期末(償還日)：10,095円69銭(既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率：6.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年9月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首9,491円でスタートした基準価額は、10,095円69銭で償還日を迎え、期首比6.4%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

当期、当ファンドの基準価額の騰落率は、プラスとなりました(円ベース)。国別配分では、エジプトに対する強気の見方等がマイナスに影響しました。銘柄選択では、クウェートの銀行への強気の見方等がマイナスに影響した一方、カタールの船舶会社やアラブ首長国連邦(UAE)の不動産管理会社への強気の見方等がプラスに寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

(2020年9月8日～2020年12月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51 円	0.530 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(30)	(0.308)	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図
(販 売 会 社)	(20)	(0.212)	・ 基準価額の算出ならびに公表
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(印 刷 費 用)	(1)	(0.014)	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
合 計	52	0.544	
期中の平均基準価額は、9,612円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

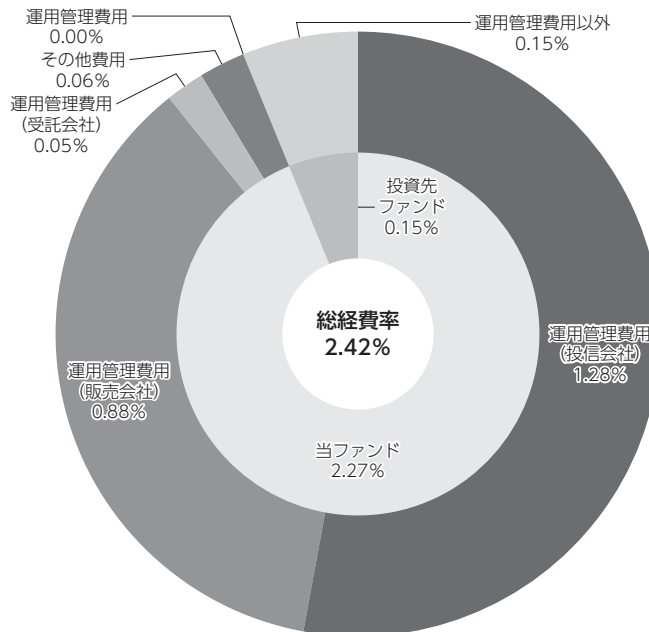
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.42%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.42
①当ファンドの費用の比率	2.27
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月7日～2020年12月4日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年9月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年9月7日 決算日	2016年9月5日 決算日	2017年9月5日 決算日	2018年9月5日 決算日	2019年9月5日 決算日	2020年9月7日 決算日	2020年12月4日 償還日
基準価額 (円)	10,595	9,318	11,412	10,426	10,896	9,491	10,095.69
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.1	22.5	△ 8.6	4.5	△ 12.9	6.4
純資産総額 (百万円)	740	606	672	548	465	376	320

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

投資環境

(2020年9月8日～2020年12月4日)

当期、世界の株式市場は上昇となりました。新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感の高まり等が支援材料となりました。ワクチン開発の進展を背景に、2021年の経済回復への期待感が高まりました。また、このことはエネルギー輸出国や、国内総生産（GDP）に占める観光業の割合が高い国にとっても支援材料となりました。このような環境下、中東・北アフリカの株式市場は上昇しました。

市場別では、トルコは、株式市場は上昇しました。2020年11月に新しい中央銀行総裁と財務相が任命され、中央銀行は政策金利を引き上げ15%としました。モロッコは、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を背景に、観光業界の回復への期待感が高まり、株式市場は上昇しました。クウェートとカタールは、原油価格が堅調に推移したことが支援材料となり株式市場は上昇したものの、他の市場と比べ上昇幅は限定的となりました。その他サウジアラビアも株式市場は上昇しました。

一方、エジプトは、軟調に推移した銀行銘柄等が重しとなり、株式市場は下落しました。

(各市場の騰落は米ドルベースで記載しています。)

当ファンドのポートフォリオ

(2020年9月8日～2020年12月4日)

当ファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ミドル・イースト クラスJの運用について

前期に引き続き、クウェートやカタール、サウジアラビアを中心に保有を継続しました。当期は、クウェート等の保有を引き下げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年9月8日～2020年12月4日)

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

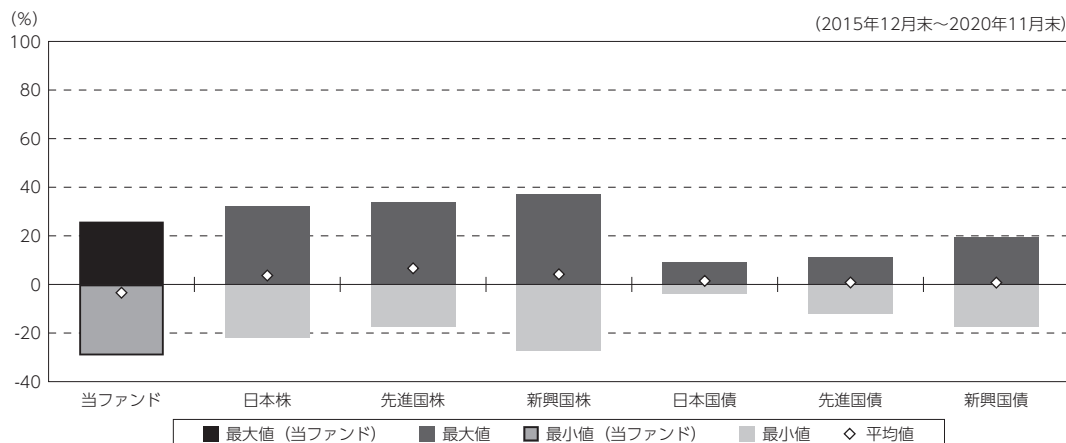
当ファンドは2020年12月4日をもって償還を迎えました。長らくのご支援、保有ありがとうございました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2007年8月31日から2020年12月4日まで
運 用 方 針	信託財産の長期的な成長を目的として積極的な運用を行います。 主として、中東および北アフリカ地域の株式等に投資する投資信託証券と、短期金融資産等に投資する投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じて、中東および北アフリカ地域の株式等に実質的な投資を行います。
主要投資対象	・ルクセンブルグ籍円建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セクション・ファンド ミドル・イースト クラス」投資証券」 ・F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用） 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として中東および北アフリカ地域の株式等に投資する投資信託証券と、短期金融資産等に投資する投資信託証券への投資を通じて、中東および北アフリカ地域の株式等に実質的な投資を行います。原則として、中東および北アフリカ地域の株式等に投資する投資信託証券を高位に、短期金融資産等に投資する投資信託証券は低位に保つことを基本とします。また原則として為替ヘッジを行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年3月5日および9月5日、ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から基準価額水準、市況動向等を勘案し分配を行います。 なお、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.9	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 29.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 3.4	3.7	6.6	4.2	1.5	0.8	0.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年12月から2020年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年12月4日現在)

2020年12月4日現在、有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項 目	第26期末(償還日)
	2020年12月4日
純 資 産 総 額	320,968,665円
受 益 権 総 口 数	317,926,309口
1万口当たり償還価額	10,095円69銭

* 期中における追加設定元本額は47,411円、同解約元本額は79,323,400円です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行うこと（又は行わないこと）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきものでもありません。